

ダンボールコンポスト

西条市役所環境衛生課

ダンボールコンポストは、ダンボール箱を使った生ごみ処理容器です。
微生物の力を使って生ごみを分解し、たい肥化させることができるので、家庭菜園やガーデニングに利用できます。

1 準備物

- ・ダンボール（40センチ角程度 防水加工でないもの）
- ・新聞紙2枚程度（底に敷く）
- ・ガムテープ
- ・竹パウダー16リットル（竹を細かく粉砕したもの園芸用土のピートモスでも代用可）
- ・もみ殻くん炭16リットル（もみ殻を炭化させたもの）
- ・ヌカ（1リットル程度）
- ・水（300ミリリットル）
- ・園芸用スコップ
- ・バスタオル（使い古したものでダンボールの上を覆う虫よけ）
- ・台またはキャリー（通気性を良くするためダンボールの下に敷く）
- ・温度計（温度上昇を確認するため、あれば便利）

2 作り方

○ 容器の作り方

ダンボールコンポストは通気性が大切です。防水加工を施したダンボールは使用しないでください。

ダンボールの底をガムテープで止めます。その際、虫の侵入を防ぐため、隙間がないようにしっかり補強してください。

上蓋の部分は立てて、横をガムテープで固定します。

ダンボールの底は、湿気が出ますので、新聞紙を2枚程度敷きます。

以上で、容器の完成です。

○ 基材の作り方

竹パウダーとモミガラ燻炭をそれぞれ16リットルダンボールに入れて、よくかき混ぜます。

スコップは混ぜるだけでなく、後で突いてほぐす作業にも使います。

混ぜる際はダンボールを傷めないように注意してください。

よくかき混ぜることが出来たら、基材の完成です。

○ 微生物（種菌）を繁殖させるヌカペースト作り

ヌカ1リットルと水300ミリリットルを、ボールに入れて、よくかき混ぜ、団子状に丸め、ヌカペーストの完成です。

○ ヌカペーストを基材へ

ヌカペーストを基材の中央を5センチ程度掘って入れます。その上に基材をかぶせて埋めます。

○ 保管場所

使い古したバスタオルで蓋をし、バスタオルが飛ぶ場合は洗濯バサミなどで止めてください。虫よけになります。

風通しの良い台に乗せ、保管場所は、雨の当たらない軒下などがお勧めです。

ただし、壁には密着しないように設置してください。

保管場所への設置ができれば、下準備の完了です。

下準備を終えたダンボールコンポストは、そのまま1日間、置いてください。

○ コンポストの中では微生物の繁殖が始まっているはずです。

1日置いて中央の温度を測り40~50度になっていれば完成です。

1日もしくは2日置いても温度が上がらない場合は、ヌカペーストを作るところからやり直してください。水分が少ないことも考えられます。

3 生ごみの投入

生ごみは1センチ程度を目安に、できるだけ細かく切ることで分解が早くなります。水切りは、水が滴らない程度で構いません。

1日に投入する生ごみの量は500グラム程度です。

タマネギの皮やトウモロコシの芯、太い骨、貝殻などは分解しにくいので、投入はお勧めできません。

投入時

スコップで基材の中央から外へ押すようにして、深さ5センチ程度の窪みを作ります。

窪みに生ごみを置いたら、軽く突きながら、基材と生ごみを混ぜ合わせます。

このとき、中心部分で生ごみが基材に絡み合うようにして、少し湿り気がある状態までかき混ぜます。

混ぜ終わったら、外側の乾燥した状態の基材をかぶせて、中心部に温度計を差し込みます。

温度計の最高温度が50~60度まで上がるようでしたら、順調に微生物が働いています。（冬場は温度が上がりにくくなります）

翌日から繰り返し、生ごみを投入していただけます。

中心部分で微生物の活動を促進するよう、生ごみ投入時は外側にあまり広げないようにすることがポイントです。ダンボール容器の湿度調整にもなります。

○ ダンボールコンポストの使用期間の目安はおよそ3カ月です。

熟成後はたい肥として使用

分解しづらくなった場合は使用を中止し1カ月程度、熟成させてください。

この間、時々全体をよくかき混ぜ、週に1回は、500ミリリットルの水をかけてから全体をよくかき混ぜてください。

熟成後は、たい肥として使用できますが、土に対して1割から2割程度の量をよく混ぜて、1カ月程度養生させてから植栽するようにしてください。

ダンボールコンポストの注意事項

- 基材の中心部の温度が40度を超えていれば、微生物が順調に活動しています。
- 冬場であれば15度以上が目安となります。
- 微生物の活動には、十分な酸素と適量の水分が重要です。
- 水分は基材の中心部を手にとって少し湿り気を感じる程度が適量です。
- 微生物の活動が弱いと感じたら使用済みの天ぷら油や米ぬかを加えて、栄養補給してあげてください。
- 数日間留守にする場合は留守にする数日前からごみの投入を休止し、しっかりと蓋をしてください。
- 再開する場合は500ミリリットルの水と米ぬかを加えて、基材の中心部を、よくかき混ぜてください。
- コンポストの基材にはミズアブが卵を産み付けることがあります。
- 幼虫は、生ごみの分解を助け、成虫に害はありませんが、気になる方は、生ごみの投入をやめて、数日間、基材をよく混ぜ合わせてください。
- 基材の中心部の温度が上がれば、虫の数は減りますが、温度が上がらない場合はもう一度、ヌカペーストを作って、基材に投入してみてください。
- 継続してダンボールコンポストに取り組む場合は熟成した基材を1リットル程度取り出し、新しい基材の中心部に混ぜると開始時の分解が促進されます。
- ダンボールコンポストが上手くできない場合や不明な点がある場合は、西条市環境衛生課 0897-52-1338 へお問い合わせください。